

H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	曾我部町	曾我部史発刊について	地域の歴史や状況の変化を伝えることで町民の皆様が郷土への理解を深めていただくことは大変有意義だと思います。これまでもいくつかの自治会が冊子として取りまとめておられます。構成や資料提供、執筆者等、協力させていただきます。具体的な内容が決まりましたら相談いただきますようお願いいたします。	教育部長	⑥その他	曾我部町史発刊に伴い、具体的な内容が決定しましたら、構成や資料提供の相談等の協力をさせていただきます。
2	曾我部町	溪谷の整備・管理要請①	放置森林については全国的な問題になっています。国でも平成36年から森林環境税を創設される中で当面は現状の管理をいただくことになります。学ヶ丘については、従来から要望をいただく中で、京都府の治山事業を要望していますが、年1本程度の採択で難しい状況です。京都府の森環境税による危険流木・土砂の撤去、豊かな森を育てる新たな事業も創設されましたので、活用に向けて調整させていただきたいと思います。その他、災害に強い森づくり事業も創設され、市で実施する事業ですが、間伐・保安林指定が必要となります。市では、里山再生整備事業として負担金もいただく中で放置された里山を整備する事業となっています。そのような中から相談させていただきたいと思います。	産業観光部長	④要望	こん談会時の回答のとおりです。
3	曾我部町	溪谷の整備・管理要請②	岩ヶ谷の山林から曾我谷川まで最下流部は官地ですが上流部は民地となっています。28～29年において住宅開発がされましたが、区域内に埋設管があり業者に指導してまいりました。上両部に市道の排水もつながっており、亀岡市に帰属するよう求めてきましたが理解が得られませんでした。今後とも適切な維持管理が行えるよう条件整備に向けて協議をおこなってまいります。	まちづくり推進部 事業担当部長	⑥その他	市は市道上の雨水が排水溝に流入していることもあり、平成28年4月当時から開発者と可能な限りの協議をしてきました。開発区域内の都市計画法上の亀岡市への帰属を開発者へ求めましたが、理解は得られず協議は整いませんでした。 平成30年8月30日、曾我部町自治会長とともに開発者と協議の場を持ち、排水路設置及び張りコンクリート打設依頼の協議の場を持ちました。
4	曾我部町	国道423号線犬飼バイパスについて	国においても予算の確保をいただいているので一部ですが事業の着手を進めてまいります。このバイパスにつきましては、換地による用地確保となりますので今後とも関係機関と調整を図っていききたいと思います。	産業観光部長	①実施	犬飼バイパスの道路用地については、換地の手法により用地確保するものであります。現在、地元役員において換地計画原案の同意徴集を行われており、同意徴集が完了すれば工事着手の運びとなりますので、今後関係機関と協議調整を図ります。
			キョーテックから夫婦ヶ池までを結ぶバイパスとして延長1キロ片側歩道の道路を計画しており補助整備事業と連携して取り組んでおり、昨年度に市道として認定を行いました。道路整備には多額の費用を要し、国の補助金を活用するなかで整備を進めていきたいと考えております。事業の進捗については、法貴バイパスの事業主体である京都府、ほ場整備サイドと綿密に調整し市道が遅れることがないように進めてまいります。	まちづくり推進部 事業担当部長	②実施予定	こん談会時の回答のとおりです。
5	曾我部町	重利倶楽部～国道423号線間の市道拡幅申請について	西条重利線の拡幅については、道路幅も狭く必要性は認識しております。地権者の合意もいただいている中で早期の事業着手に向けて取り組んでいきたいと考えています。国の補助金を確保する中で進めてまいりたいと考えております。	まちづくり推進部 事業担当部長	②実施予定	こん談会時の回答のとおりです。

H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
6	曾我部町	府道東掛小林線 児童生徒の安全確保について	40キロから30キロへの速度制限については今の道路状況、幅員、実勢速度から、公安委員からは難しいとの回答を得ています。速度抑制をするためには、ポールや狭窄部の設置などが考えられますが地元住民の合意も必要となります。時間帯による一方通行も考えられますが、警察が懸念するのは、一方通行にすることで、逆に速度が増す可能性や周辺の皆様への不便などあり、住民の皆様の理解が必要と考えます。	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			狭窄部やバンプにつきましては、府民公募型事業を活用いただき要望いただければと考えます。	まちづくり推進部 事業担当部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
7	曾我部町	曾我谷川(特に重利橋付近)の浚渫要請について	重利橋付近の浚渫につきましては、府としても必要性を認識していただいています。既に現地調査を実施され、秋以降の事業実施に向け進めていただけていますが、今回の豪雨により状況が変わっており、それも含め調整されると思います。今回の豪雨による被害についても、測量業者等の手配を済ませて対応していると聞いております。	まちづくり推進部 事業担当部長	②実施予定	今夏の豪雨や台風により、堆積していた土砂が下流に流下してしまい、当該区間については、堆積土砂がなくなりました。しかしながら、落差工や護岸が被災していますので、災害対応により復旧するべく準備頂いています。
8	曾我部町	西条区内唐池の活用について	亀岡市としては、埋め立てて利用する計画はありません。埋立ができてでも地元で管理いただくのが条件となってきます。現在利用されていないので廃止にかかる手続きはスムーズに進むと思いますが、堤体の撤去や埋立等の工事が必要と考えられ、かなりの費用が生じますので、農村地域防災減災事業等の補助事業の採択が必要と考えますが、治す池の優先度が高いことや費用対効果が重要となることから、すぐに採択されるのは難しい状況です。	産業観光部長	⑤困難	農村地域防災減災事業においては、ため池の危険度が高い池から、優先的に進めている事業であります。当該唐池のように貯水されていないため池については、極めて優先度が低く事業化は困難であります。